

一般社団法人京都市知恵産業創造の森 令和5年度事業計画

本法人は、知恵の交流と融合により新たな価値の創造を図るとともに、産業施策を戦略的に推進し、京都経済の発展と活性化に資することを目的に設立され、令和5年度で5年が経ちます。この間、交流と協働による新たな価値創造の推進に関する事業や産業人材の育成支援に関する事業、産学公連携の推進やスマート社会等の実現に関する事業、さらにはスタートアップの創出及び成長支援の推進に努めてきました。

コロナ禍や人口減少、DXの推進や脱炭素社会への転換といったさまざまな社会環境の変化の中で、その変化に柔軟に適応できることが企業にも人にも求められるようになってきています。また、それぞれの働き手が自らの望むように働き、その能力を発揮し、自律的なキャリア形成を行えるようにするためには、多様で柔軟な働き方が、選択肢として確立されることが重要になっています。さらに、社会課題解決に貢献し、社会課題が解決されることによって生まれる「社会的価値」を創出することを目的とし、これまでとは異なる革新的な事業手法を駆使したイノベーション創出を目指すスタートアップ企業の創出にも期待が高まっているとともに、学校での学びと社会との関連性を教え、学習意欲を向上させ、学習習慣を確立させる「キャリア教育」が重要視されてきています。

こうした状況を踏まえ、令和5年度は、本法人における交流と協働の象徴である KOIN の活用促進に繋がる事業展開や伴走支援型の事業の継続により、若年層を中心に幅広い層との交流拡大と支援強化に取り組むほか、府内中小企業等のDX化に向けた事業支援や学生等を対象としたアントレプレナーシップ教育の推進等による次代の京都産業を担う人材の育成、スタートアップの創出に向けた支援の拡充や産学公連携など、多様な人材が交流・連携し、新たな価値の創造に資する事業に、引き続き以下のとおり取り組んでいきます。

1 産業人材の育成支援に関する事業

デジタルツールの充実やニーズの多様化など、企業を取り巻く環境が大きく変化する中、産業構造の転換に対応した高度人材の育成など、次代の京都産業を担う人材を総合的に養成する。

(1) 産業人材育成に係る企画、運営

多様な機関が実施する研修等の人材育成事業がより効果的に実施できるよう、連携と情報共有を図るとともに、特に、重点分野の研修・セミナー等を企画・運営し、オール京都で次代の京都産業を担う人材を育成する。

(2) 多様な主体との連携による効果的な人材育成の推進

他の産業支援機関や教育機関、金融機関等と連携し、次代の京都産業を担う人材の育成に向けた取組を効果的に推進する。各団体が関係する多様なステークホルダーに対して、それぞれのニーズに合った人材育成に関するプログラムに導くことで、相談のフェーズに合ったサポートを提供できる仕組みを構築する。

2 交流と協働による新たな価値創造の推進に関する事業

京都経済センターに集まる多様な人々の交流と協働を通じて、新たなネットワークの創出やオープンイノベーションを促すことで、新たな価値の創造を図る。

(1) オープンイノベーションカフェ「KOIN」の運営

① 多様な人々によるオープンイノベーションカフェ「KOIN」の活用促進

学生や研究者、若手起業家、クリエイティブ分野に携わる人材など、若い世代を中心に多種多様なジャンルの人々の利用を促進するため、多彩なテーマでイベントや交流会等を開催する。

また、KOINに学生が集う仕掛けづくりを強化するなど、“京都で何か始めたい”と考える若年層の利用者獲得と、利用者間のコミュニケーション拡充を目指す。合わせて、利用者や支援機関等の交流と協働による幅広い KOIN コミュニティの形成を図る。

② 起業やスタートアップの発掘・育成と事業展開に向けた支援の取組の実施

オープンイノベーション手法による新事業創出等、若い世代の新たなチャレンジを支援するとともに、起業や社会課題解決など、KOIN に寄せられる多彩な相談の受け皿となる各種相談窓口を設け、幅広い相談ニーズに対応する。

また昨年度に引き続き、学生の起業実践を支援する「ビジネス実践ラボ」や、ビジネスにおいて0から1を生み出す力を養う「THE LEAN LAUNCH PAD PROGRAM」や、創業初期段階のチャレンジショップ企画「KOIN マルシェ」を継続して実施する。

③ SNSや掲示板等を活用した情報発信の強化

KOIN で行う取組や、新事業の創出に関する情報等を発信するとともに、利用者やイベント参加者が自ら取組や成果、商品・サービスを発信、PRできる情報発信機能を強化し、交流と協働の拡大、深化を図る。

④ ネットワークを活用した起業支援の充実

産業支援機関やコワーキング施設運営者、金融機関等、起業のエコシステムを構成する団体とスタートアップ等を結びつけるハブとしての機能を果たすとともに、京都経済センター入居団体をはじめとする多様な支援機関等とも連携しながら、起業アイデアの発案から計画策定、事業化まで一貫した支援体制を構築する。

(2) 京都産業及び京都企業の魅力発信

展示・PRブースや WEB 等の様々なメディアを活用し、京都産業の多様な魅力や企業の強みなどを幅広く発信するとともに、事業実践やテストマーケティング支援などの事業を通じて、京都産業及び企業のプロモーション・魅力発信を図る。

3 スマート社会の実現に関する事業

中小企業等に対して、製品化やエネルギーコスト削減、IoT や AI 等の先端技術等を活用した生産性の向上等につながるDX(デジタル・トランスフォーメーション)化への支援を行うとともに、京都産業EMS推進本部として、産業EMSの裾野をさらに広げ、産業支援機関とのネットワークを強化する。

(1) スマート産業関連の生産性向上

スマート社会実装化促進事業等を通じて、エコ・エネルギー分野の推進やIoT・AIを活用してイノベーションを図る中小企業の支援を行うとともに、京都スマートプロダクト認定製品・サービスについては、企業の情報発信・販路開拓等の支援を強化する。

(2) 中小企業等のDX化、省エネ・節電対策

- ① 中小企業のさらなる産業活性化、生産性向上につながるDX化の促進を支援する事業や、事業者向け自立型再エネ設備等の設置を助成する事業をオール京都で展開するとともに、中小ものづくりDX推進アドバイザーの派遣等、専門家による診断事業を充実させる。
- ② 中小企業が行う省エネ設備改修に要する経費の一部を補助することで、省エネ・節電に通じた、温室効果ガス排出量の削減及びクレジットを創出する。

(3) スマート産業に関わるネットワーク形成

京都エコ・エネ交流クラブ会員やエコ・エネルギー関連及びDX関連事業者とのネットワークの形成、京都府内の中小企業等支援機関との事業の共同実施や広報の連携等の強化を行う。

4 産学公連携の推進に関する事業

オール京都の産学公金のネットワークを活かし、オープンイノベーションの更なる推進、大学が実施している地域連携への支援、関係団体との連携による情報交換、情報発信に資する取組を行うとともに、スタートアップ・エコシステムの活性化につながる取組を産学公の連携を通じて進める。

今年度は、令和4年度に続き、出口重視(事業化やスタートアップ創出等を意識した産学連携支援)の観点を踏まえ、それぞれの事業を展開していく。

(1) 産学公連携によるオープンイノベーションの推進

① 産学公連携の機会創出

企業と大学を、企業側から及び大学側からの双方向で結び付ける相談窓口を設置・運営するとともに、企業が求める技術・事業ニーズ説明会(仮称)を開催し、大学・企業等のマッチングを支援することなどにより、産学公連携・オープンイノベーションの推進に繋げる。

② 産学公連携による研究開発の事業化支援(産学公連携共同研究開発事業)

令和4年度事業に続き、大学等(若手研究者など)の事業化・出口を意識した研究開発について助成金の交付などにより支援を行うことで、新しい社会的価値の創出につなげていく。

(2) 地域連携への支援

地域連携を効果的に実施するための大学・学生への助成を行うとともに、令和4年度に続き、学生のアントレプレナーシップを醸成するための事業を、外部人材の知見を積極的に活用して実施する。

また、これまで産学連携は個々の事業者を対象として実施してきたが、令和4年度から、地域や業界をテーマとした事業者グループを対象に新しい価値創出に向けた動きを支援しており、令和5年度も引き続き実施していく。

(3) 関係団体との連携による情報交換、情報発信

国機関・府・市をはじめとする産学公連携支援施策等の情報発信をはじめ、京都産学公連携プラットフォーム会議の参加団体を中心に交流の機会を設けることにより相互の情報交換を促進する。

更に、KOIN を活用して大学等が実施するイベントを共同で開催することで、情報発信・相互交流を図っていく。

5 スタートアップの創出及び成長支援の推進

内閣府や文部科学省の施策も活用し、高付加価値のスタートアップの創出やグローバル展開を目指すスタートアップへの支援等に取り組むことで、スタートアップの成長ステージに即した支援策が提供できるエコシステムに向けて、京都スタートアップ・エコシステム推進協議会の構成団体や大阪・兵庫のスタートアップ・エコシステムコンソーシアムと連携しながら取組を推進する。

(1) スタートアップ・エコシステムの充実

① スタートアップの創出に向けた支援

スタートアップが創業時に必要な知識を学ぶ Kyoto Startup Challenge セミナーの開催、弁護士・公認会計士による専門家相談やベンチャーキャピタルによる壁打ちでの創業前後の様々な課題への対応、グローバルな展開を目指す大学発スタートアップの創業に向けたマッチングイベントの開催、高校生等を対象としたアントレプレナーシップに関する取り組み等により、引き続きスタートアップが創業しやすい環境を整備する。

② スタートアップの成長ステージに即した支援

次世代の起業家が集う国内最大級のスタートアップカンファレンス「IVS京都 2023 京都」の共同開催により、グローバル展開を目指す京都のスタートアップと国内外の経営者・経営幹部・投資家とのマッチ

ングを促進する。また、京都の強みであるディープテック領域のスタートアップの実証・販路拡大のため、東アジア・東南アジア地域の主要なスタートアップ・エコシステムと連携した共同イベントの実施により、グローバルな展開を目指すスタートアップを支援するとともに、成長を目指す経営者への先輩起業家によるメンタリングやコミュニティ形成等の支援することで、成長ステージに即したエコシステムの充実を図る。

③ スタートアップに関する情報の発信

スタートアップに関するニュースやイベント開催及び補助金やアクセラレーションプログラムの募集に関する情報を、Webサイト及びSNSを活用して発信するとともに、Webサイトの英語版の拡充、国内外のイベントへの参加により、京都のエコシステムの魅力を積極的に発信していく。

(2) 京都スタートアップ・エコシステム推進協議会の運営

京都のスタートアップの現状や課題、支援メニューの効果等を構成団体に共有するとともに、課題解決に向けたワーキングを随時開催する。

(3) 京阪神スタートアップ・エコシステムの連携

グローバルに挑戦する関西発のスタートアップを支援する「Kansai Startup Mashups」や、京阪神の大学、支援機関、金融機関等が連携し、大学発スタートアップの連続した創出に取り組む「京阪神スタートアップアカデミア・コアリション(KSAC)」の活動により、より具体的に大阪、兵庫のスタートアップ・エコシステムコンソーシアムとの連携を強化することで、京都のスタートアップの成長速度を高めていく。